

三和区

『第56号 2024.12』

地域協議会だより

発行：三和区地域協議会
編集責任者：三和区地域協議会
会長 高橋 鉄雄
編集委員：松井 隆夫
松栄 由里
宮澤 克己
事務局：三和区総合事務所
(総務・地域振興グループ)
TEL 025-532-2323
FAX 025-532-2623
sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

三和区内視察（現地研修）・勉強会・団体等との意見交換を実施

11月28日、地域の課題や資源を共有し、課題解決や活性化に向けた議論につなげるため、林富永邸を会場とした勉強会と意見交換、上越魚沼地域振興快速道路「三和安塚道路」の建設現場を視察しました。また、同日開催された、地域独自の予算事業「上沼道開通を見据えた三和区魅力発信事業」に参画いただいた三和中学校生徒の成果発表会に参加しました。出席した委員から、当日の様子や感じたこと等を報告します。

——「上沼道開通を見据えた三和区魅力発信事業」三和中学校成果発表会

中学3年生とのグループワークに参加して：副会長 龍池 麻耶 ——

上越市創造行政研究所の将来人口推計によると、“このまま何もしなければ”三和区の人口は2050年には3,000人を割るといふ。

三和中学校の生徒達はこの状況に危機感を持ち、地域活性化のため三和区の魅力発信事業に取り組んだ。そして、まとめとして、それぞれが将来の三和区への貢献方法について意見を出し合った。

学校教育の中で、地域の課題や魅力について取り上げることは、それに関わる全ての大人の意識をも変えることができる。私は彼らの真剣で前向きな姿勢から、とてつもない刺激をもらった。地域活性化や人口減少対策など、成果が出るまでに何年もかかるかもしれないが、忍耐強く地道に「行動し続けていくこと」が、案外一番の近道なのかもしれない。今まで地域の先輩方が、地域課題解決のために取り組んでくださった施策を次に繋げ、今を生きている子供達・未来の子供達のためにできることに取り組む。子供達が帰って来たいと思える環境づくりを模索していきたい。その「責任」が、私達大人にあるのではないだろうか。三和中学校の皆さん、多くの気づきをありがとうございました。



▲ 中学3年生とのグループワーク

—— 林富永邸を会場に勉強会と団体等との意見交換を実施：委員 茂木 知絵 ——

神田の林富永邸を会場として「林富永邸サポーターズクラブがんばれ！林くん」「龍池園(RYUCHIEN)」「NPO法人三和区振興会」の方を講師に、勉強会と意見交換を行いました。三和には、商店、農業、福祉、歴史、文化など様々な立場や想いで三和の将来を考えてい

る方がたくさんいらっしゃいます。今回のようにお互いの想いを知る機会を増やすことで協力し合あえる部分を探り、限りあるマンパワーを活かすことができたらと感じました。

— 上越魚沼地域振興快速道路「三和安塚道路」建設現場を視察：委員 牧井 雅英 —

本郷地内の現場で、県職員から進捗状況の説明を受けました。基礎部分に40m相当の杭を複数打ち込み、自然環境に配慮しながら工事が行われます。最新の大型機械が置かれた高架橋の建設現場は迫力あるもので、人の力で道路が造られることは、本当にすごいことだと思いました。貴重な体験ができました。

早期開通を願う三和区民の一人として、この道路が上越市街へのアクセス向上、冬期間の道路の信頼性向上、災害や交通事故による通行止めの代替ルートになるよう願います。



▲本郷建設現場を視察

新たに選任された「高橋 恵子 委員」あいさつ

この度、委員の欠員により9月20日より三和区地域協議会委員に任命されました。一足遅いスタートとなりましたが、今まで3回の協議会及び研修に出席し、委員の皆さまの三和への想いや熱意を感じています。

三和で生まれ育ち、今も三和で暮らしている一住民として、三和の魅力を発信しながら皆さまが安心して幸せな生活が送れますよう、一緒に三和のことを考えていきたいと思っています。

「上越市三和西部スポーツハウスの廃止について」の諮問・答申

上越市三和西部スポーツハウスの廃止について、8月1日付けで市から諮問がありました。諮問内容と諮問理由、地域協議会で協議した結果の市への答申は次のとおりです。

■諮問内容

廃止予定日：令和7年4月1日

■諮問理由

施設の老朽化が進む中、利用者が少なく、区内に同様の施設があることから、上越市三和西部スポーツハウスを廃止することに関し、三和区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの

■答申〈第4回地域協議会：9月26日〉

地域住民の生活に支障はないものと認めます（附帯意見なし）

～ 編集後記 ～

11月28日の地域協議会研修会は、とても有意義な一日になりました。三和区の「明るい未来」を想像することができたからです。林富永邸での3団体等の皆さんのお話、中学3年生の「三和区魅力発信事業」成果発表会、三和安塚道路の現地視察等、それぞれの夢や目標と、その実現へ向けての構想を聞かせていただきました。“自分たちにできることは何か、一緒にその道程を見届けたい”と思えたことは、幸せな時間でした。 編集委員 松栄 由里